

「学童っていいな」「組合っていいやん」 を次の世代へつなげたい

大阪自治労連関連評議会・
学童保育指導員労働組合連絡会会長

高宮 健太さん

(吹田関連労組)

大阪自治労連関連評議会で学童保育指導員労働組合連絡会の会長として、連日がんばっています。子どもの頃に守口市の学童保育に通っていました。現在、吹田市で学童保育指導員として、21年目の高宮健太さんに話をお聞きました。



学童といえばけん玉。子どもたちといっしょに競いあっています

**指導員になったきっかけは
あたたかく迎えて
くれた記憶があって**

3人兄妹の長男で一番下の妹の保育園にお迎えをする中で、漠然と「子どもに関わる仕事がしたい」と思っていました。児童福祉の専門学校で「保育士資格で働けるのはどこかな」と進路を考えて、地元の守口市学童保育へ実習に行きました。学童の頃、学校でしんどくなつて、学童の部屋に行くと指導員の方たちが「よう来たな。ゆっくりしていき」とあたたかく迎えてくれました。そんな出来事もあり「やっぱり学童っていいな」と決め手になりました。

**やりがいを感じる時は
「大きくなったなあ」と
成長を感じる時**

子どもたちの成長を感じた瞬



自治労連学童保育全国連絡会でも会長として、全国の仲間とのつながりを広げています(後列左端が高宮さん)

間です。1年生、2年生と4月初日に緊張や不安で涙を流した子が、4年生で「リーダーしたい」と声を上げてやり切って成長する姿。他にも、はじめはケンカばかりで何度も話しあった子が、4年生になって、「そんなことでケンカすんなよ。話したらわかるやろ」と、仲直りさせている姿を見ると「大きくなったなあ」とうれしい気持ちになります。

**職場や労働組合での課題は
指導員同士でつながら
難しさを乗り越えて**

指導員同士でつながることが難しくなっています。「組合って入らなあかんの」という声を耳にします。「どうせ何も変わらんのちゃう」と負のイメージがあるのかなと思います。どう克服していくか。

みんなで楽しいことを企画し、未加入の方呼びかけ、大好きな学童のことを話しあい、「組合っていいやん」というイメージに変えていきたいですね。

**組合があつてよかった時
人とのつながりが増え
仲間の輪が広がった**

コロナ以前、全国の青年組合員が集まる「おきプロ」で、沖縄での交流と学習を通して、広範な人たちとつながれたことは良かったと思います。

また、「会計年度任用職員」導入時、組合がしっかり訴えたから、労働条件を維持できました。さらに、一時金の支給や、賃金改定の4月遡及を実現しました。もっと運動を積み重ねて、次世代に引き継ぎたいです。



夏季要求の前進回線を前週に求める民進市議会の仲間たち

私たち大阪自治労連は、自治体で働く労働者の賃金引き上げや労働条件の改善とともに、住民福祉の向上をめざし、職場と地域から運動をとりこんでいます。

「もっと職員を増やしてほしい」「安心して働きやすい職場環境を」など、切実な要求を実現するため、みんなの声が届く政治を実現することがたいへん重要です。物価高騰対策でくらし応援につながる大幅賃上げと消費税減税、子育てや教育の充実、ジェンダー平等、「軍拡」をやめて「憲法」がいきる平和な社会の実現など、いまこそ政治の流れをみんなの力で変えましょう。



【さよなら自民党政権・維新政治】民進市議会で訴える坂田義典(5月29日産経新聞文芸版)。